

## 産学交流企画2022（スピンオフ高専特化版）活動報告

島根県技術士会 青年部会

島根県技術士会青年部会では2017年度より高専生に特化した産学交流企画を開催しており、今回が5回目となりました。大勢の技術士会会員にもご参加いただき、活気ある企画となりました。

### ■開催日時・場所

日時：令和4年10月24日（月）13:10～16:00（2コマ分）

場所：松江工業高等専門学校（512講義室他）

座学（13:10～13:40、15:50～16:00）512講義室

参加（13:50～15:50）521・522講義室

### ■メンバー

参加者：建設・環境工学科4年生全員（約40人）

講師：島根県技術士会 15名（行政4名、コンサル8名、ゼネコン3名）

（オブザーバーとして、会長および賛助会員の社員1名の方が参加）

### ■実施内容

前半を座学方式、後半を参加方式としました。

#### ・前半：土木のお仕事説明（座学方式）

「道路改良」をテーマに各職種（行政、コンサル、ゼネコン）の土木技術者がどのような仕事を担い、どう連携しているのか、技術士から説明する。

#### ・後半：各職種との相談タイム（参加方式）

参加者を10名/班@4班に分け、「①行政、②コンサル(設計)、③コンサル(調査)、④ゼネコン」の職種を回ってもらう。

※企画終了後に各学生が興味を持った職種に再相談できる時間を設ける。

#### ・タイムスケジュール

13:10～13:40：挨拶、全体説明、土木のお仕事説明

13:40～15:40：各職種との相談タイム（30分@4職種、各班への移動含む、途中5分休憩）

15:50～16:00：まとめ

16:00～：希望する学生の再相談タイム

### ■感想

4年生の学生さんは、進路（就職、進学等）を考える時期に入っており、各職種についての具体的に話を聞くことにより、各職種への理解を深めるとともに、進路を考える際の参考になったのではないかと思います。対面開催ができたことで、より想いを伝えることができたと感じています。

座学では、道路改良を例に、事業の流れや各職種の仕事内容等を説明しました。学生の皆さんはしっかりと聞いていただきこちらにも真剣さが伝わってきました。

相談タイムでは10人程度のグループで開催しましたが、各班とも時間が少なく感じるくらい様々な質疑応答がされていたように感じました。企画終了後の追加相談では、数名の方ではあるものの個別に相談される方がおられたことから、来年度以降も引き続きこのような時間を設けようと思います。

今後もより良い企画にしていけるために、少しずつ改善し、より学生の皆さんに有益な企画にすることができればと思っています。

■ 状況写真



土木のお仕事説明



相談タイム



相談タイム